

民児協だより



—広げよう 地域に根ざした 思いやり—



小諸市民児協との意見交換の様子

まなざし

海と山、自然に恵まれた温暖な風土に歴史と文化の薫り。大磯町は新旧の住民が共生する町です。そこで、今、私たちが力を入れているのが訪問活動です。第2子以降4か月児の家庭を訪ねる「こんにちは赤ちゃん」、2歳児への家庭訪問「にこにこ子育て応援団」、75歳以上の高齢者全戸訪問があります。

大磯町民児協は町の事業にも協力し、地域全体で暮らしを支える住みよい町作りを目指しています。

関係機関との繋ぎ役として、民生委員・児童委員、主任児童委員が連携して、「見守り」や「訪問」を行っています。さらに、隣接の町との交流会をはじめ、昨年の6月には姉妹都市の一つである長野県小諸市を訪ね、小諸市民児協との交流会を行いました。交流会では4グループに分かれて、“児童に関わる取り組み”などについて意見交換を行いました。

(大磯町民生委員児童委員協議会)



- ◆特集① 民生委員児童委員の皆さんに期待すること
- ◆特集② 新たな役員体制の紹介
- ◆特集③ 平成28年度受章(賞)者紹介 おめでとうございます

- 活動研究レポート(神奈川県民児協 児童委員・主任児童委員活動推進会議実行委員会)
- 広報委員の紹介

特集 1

神奈川県社会福祉協議会 会長 篠原 正治



民生委員児童委員の皆様には、日頃から地域福祉の推進にご尽力をいただく一方で、本会事業の推進にも多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年12月に民生委員児童委員の一斉改選が行われ、飯田会長のもと新しい体制により民生委員児童委員活動を支える取り組みが進められておりますが、今年5月には民生委員制度創設100周年、児童委員制度創設70周年の大きな節目を迎えようとしています。

地域住民が安心して暮らしていくための身近な相談相手、必要な支援へのつなぎ役として、見守り活動や訪問活動を永年に渡って継承されてきた功績は、非常に大きく尊いものがあります。

この100年もの間、社会環境や経済情勢は目まぐるしく変化して、福祉制度・施策の動向も大きな転換を遂げてきましたが、民生委員児童委員の皆様は、地域の中で思いやりや助け合い・支え合いの精神を大切にしながら、日々地道な活動を積み重ねてこられました。

こうした努力が、新しい未来を切り開いていく原動力となり、福祉の心が世代を超えて脈々と受け継がれてきたのだと思います。

民生委員児童委員への役割を超える期待や個人情報取り扱いなど、皆様の活動に影響を及ぼす課題も増えておりますが、少しでも活動しやすい環境づくりに向けて、周囲の理解が深まるよう、本会も一緒に取り組んでまいりたいと考えています。

本会では、今年度を初年度とする4カ年の活動推進計画をスタートさせました。複雑化・多様化する今日の福祉課題の解決に向けて、会員をはじめとした様々な関係機関・団体の参加と協働により取り組んでまいります。この基本理念「住民参加と様々な主体の協働による誰もが安心して生活できる地域づくりの推進」に向けて、引き続き県民児協の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

神奈川県福祉部 地域福祉課 課長 笹島 大志

民生委員・児童委員の皆様には、日頃からそれぞれの地域において、地域福祉の向上のために、様々な相談や援助活動に取り組んでいただくなど、本県の福祉施策の推進にひとかたならぬ御尽力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、地域福祉を取り巻く状況は、高齢化の急速な進行に伴い要援護者の増加、孤立死・孤独死など人間の尊厳に係わる問題が顕在化するとともに、生活困窮世帯の増加など、課題が山積しています。

また、昨年7月、障害者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において発生した大変痛ましい事件は、多くの方々に、言いようもない衝撃と不安を与えたのも記憶に新しいところです。

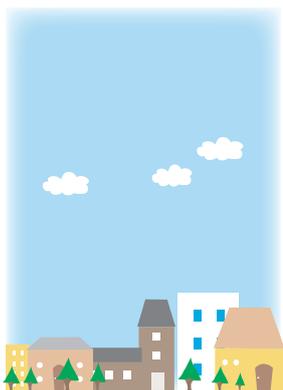
こうした中、県では、住民の皆様が、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる「ともに生きる社会かながわ」の実現をめざし、県民総ぐるみで取り組んでいるところ です。

この「ともに生きる社会かながわ」を実現するためには、地域住

民に一番身近な存在として、日々地道に活動している皆様の存在が欠かせません。

県としても、民生委員・児童委員の皆様の活動しやすい環境づくりに向けた取組みを進めております。今後とも、市町村と連携し、あらゆる機会を活用して、皆様方の円滑な活動に必要な情報や研修の機会の提供等に努めてまいります。

誰もが住み慣れた地域で安心して健康に暮らせる社会としていくには、私も行政と、社会福祉協議会、そして民生委員・児童委員の皆様とが手を携え、連携を密にしていくことが不可欠です。皆様方には、今後とも地域福祉の要として、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



特集2

新たな役員体制紹介

去る12月19日開催の県民児協総会にて、新しい役員体制が承認されました。3年間、よろしくお願ひいたします。

昨年12月1日に一斉改選がありました。県内定数4623名に対し、4439名の方が委嘱され、欠員は184名と前回と比べ62名の増加。充足率は、1.3%下がっています。今回の一斉改選は、年齢撤廃され初めての改選です。来期に向け、課題を洗い出す必要があるのではと考えます。

さらに本会では、全国民生委員児童委員連合会が平成19年度に作成した『民生委員制度創設90周年活動強化方策』をもとに、今後、本会が目指す活動方針として「神奈川県版活動強化方策（仮称）」を作成しています。平成20年度から今年度にかけて役員会と総合企

画委員会にて検討し、次の大きな3本柱を目標に進めようと整理しているところです。

一、個別支援活動の継続と「支援の力」の向上

住民の身近な相談役として、住民の声に耳を傾け、関係機関・団体への橋渡しができるよう取り組みます。民生委員児童委員自身の価値観・人生観にとらわれず、地域住民一人ひとりの考え方に寄り添います。

二、子どもや子育て世帯を地域で支える

民生委員児童委員と主任児童委員が連携して子どもや子育て世帯の課題に取り組み、子どもも親も大

切な存在であることを発信します。複雑・多様化する社会福祉課題を抱える住民や世帯を見つけ、適切な関係機関・団体につないでいきます。民生委員児童委員活動が円滑に進められるよう民児協を作っていきます。

三、民児協活動を支える基盤づくりの強化

今後は、今回の改選の課題と含め3本柱の実践を目指し、本会役員一致団結し、取り組んでまいりますので、どうぞ、よろしくお願ひいたします。

なお、この3本柱の詳細は冊子等にてまとめ後日配布を予定しています。

Table with 3 columns: Position (e.g., 会長, 副会長, 理事), Name, and Municipality (e.g., 飯田 弘, 篠原 徳守, 井上 敏昭).

特集 3

平成28年度受章(賞)者紹介

次の方々が各種表彰を受章(賞)されました。おめでとございます。

県民児協としての今期3年間の抱負

正副会長4名より、「県民児協の正副会長として大切にしたい想い」や「これから3年間励みたいこと」について一言いただきました。

飯田 弘さん (本会会長・平塚市民児協会長)

民生委員制度創設100周年の記念すべき年に県民児協会長をお受けして、責任の重さを痛感しております。

民生委員児童委員のなり手不足は深刻であり環境の整備が喫緊の課題です。地域共生社会の実現が求められ地域に根ざした活動を目指します。

篠原 徳守さん (本会副会長・茅ヶ崎市民児協会長)

地域社会における「つながり」の希薄化から生じる様々な困難を抱え、孤立し、何らかの支援を必要とする住民に寄り添い「心のバリアフリー」を大切に、誰もが安心して生活できる様に相談・支援活動や見守り活動を推進して行きたいと思えます。



金子 直勝さん (本会副会長・大和市民児協会長)

民生委員児童委員の位置づけや役割は時代とともに変化しつつも、いつの時代も地域住民の立場に立って活動を行なう原則が貫かれています。

これまで多くの民生委員児童委員が長い間、生活基盤としての地域を大切にしてきました。これからも、地域に根ざした思いやりの精神で地域福祉の増進に努めます。

松本 信之さん (本会副会長・綾瀬市民児協会長)

社会福祉の流れや地域の環境は、ここ数年大きく変化し問題が複雑化、かつ多種多様化しています。

地域福祉にとって民生委員児童委員と自治会、地区社協との連携・協働は今日的課題です。「つなぐ」「連携する関係づくり」に力を注いでいきます。

◇春の褒章（4月29日付）

藍綬褒章
〔厚木市〕 内山恭宏

◇秋の褒章（11月3日付）

藍綬褒章
〔茅ヶ崎市〕 木下操
〔横須賀市・元〕 山本壽美子

◇厚生労働大臣表彰（11月11日付）

〔民生委員・児童委員功労者〕
〔横須賀市〕 小林英樹 吉岡和代
〔平塚市〕 飯田弘 北村公秀
〔小田原市〕 小澤治枝
〔茅ヶ崎市〕 篠原徳守
〔共同募金運動奉仕団体〕
横須賀市北下浦地区民生委員児童委員協議会

◇全国社会福祉協議会会長表彰（11月11日付）

〔民生委員・児童委員功労者〕
〔横須賀市〕 白井幸江
〔平塚市〕 松田茂子
〔鎌倉市〕 久能茂子
〔藤沢市〕 堀口陽子
〔小田原市〕 三宅恵鐘
〔大和市〕 赤田いつ子
〔座間市〕 河原田純子
〔綾瀬市〕 二ノ宮要子

◇全国民生委員児童委員連合会会長表彰（10月20日付）

〔優良民生委員児童委員協議会表彰〕
鎌倉市第十地区民生委員児童委員協議会
大和市民生委員児童委員協議会

〔永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰〕

〔藤沢市〕 浅野朝子
〔小田原市〕 市川昭維子 小澤治枝
瀬戸昌子
〔永年勤続民生委員・児童委員表彰〕
〔横須賀市〕 今井孝 岩田勝江
鰐澤照代 菊田美津代 小關春枝
東海林義勝 鈴木佐智子
長谷川悦子 林美佐子 藤井幸子
松井節子 吉田孝志

〔平塚市〕 岩崎悦子 遠藤宏信

〔茅ヶ崎市〕 安齋百合子 石井緑
内野邦代 梅澤徳夫 久能茂子
後藤玲子 瀧川フク 宮壽早苗
〔藤沢市〕 東洋子 池田恵美子
石井康子 落合美知子 川田厚子
川村喜八郎 小嶋紀子
角田由紀子 中塚勝 原田幸子
三堀真知子
〔小田原市〕 酒口松男 田口正道
〔茅ヶ崎市〕 岩本マチ子 新倉篤子
〔逗子市〕 岩本靖枝 坂口敏子
東海幸緒
〔三浦市〕 井坂和子
〔厚木市〕 川島陽子
〔大和市〕 鈴木俊英 谷川弘子
吉田カツ子 力武美也子
〔伊勢原市〕 市川珠恵 黒川幸子
中村久仁江

〔座間市〕 青木映江 一杉規予子

伊藤優子 稲垣文野 河原田純子
種村めぐむ 山田敏子
〔綾瀬市〕 木村照子
〔寒川町〕 石塚美智子

〔開成町〕 中嶋和子

〔箱根町〕 筈原政司 勝俣晶子
川口満子 芝京子 村上ちず子
〔永年勤続民生委員・児童委員功労表彰〕
〔座間市〕 青木友子

◇県民功労者表彰（6月16日付）

〔社会福祉分野〕
〔藤沢市〕 手島暁子
〔小田原市〕 泰田幸枝
〔茅ヶ崎市〕 篠原徳守
〔秦野市〕 須永克子
〔厚木市〕 渡邊治代
〔綾瀬市〕 古塩幸子

◇神奈川県知事表彰（10月5日付）

〔在職15年民生委員・児童委員永年勤続表彰〕
〔平塚市〕 深石元保
〔鎌倉市〕 片瀬都志夫
〔厚木市〕 山本治彦

◇神奈川県社会福祉協議会会長感謝（10月5日付）

〔永年勤続功労者（勤続20年以上）〕
〔横須賀市〕 井上厚子 小川貴美子
風戸芳樹 川口光子 小林英樹
白井幸江 八木真弓 吉岡和代
〔平塚市〕 中村純子 三浦恵美子
〔鎌倉市〕 小林恵子 高橋満子
平本恭子 和田淑子

〔藤沢市〕 内田昌子 内野典子

梅原實 加藤みはる 木佐貫茂
菅原智栄子 杉測美有子 堤幸子
林アヤ子 堀口陽子 三疇壽則
〔小田原市〕 寺島美枝子 泰田幸枝

〔茅ヶ崎市〕 小澤登代子 篠原徳守

〔逗子市〕 新田清美
〔秦野市〕 小泉美江
〔厚木市〕 渡邊治代
〔大和市〕 青木恵美子 大谷喜彦
菊地慶子 佐藤幸枝 瀧本信子
〔伊勢原市〕 清田弘子 宮崎八重子
〔座間市〕 城条洋子 吉原克枝
〔綾瀬市〕 藤原百合子

◇神奈川県社会福祉協議会会長表彰（10月5日付）

〔永年勤続功労者（勤続10年以上）〕
〔横須賀市〕 薄悦子 石井琇子
宮川寿子 横井弘子 長浜恭子
多呂雅子
〔平塚市〕 佐藤良子 山本裕子
遠藤博之 中浦洋子 筒井悦子
〔鎌倉市〕 澤田美穂 岩澤勝昭
小美野京子
〔藤沢市〕 川口吉美 松倉明子
曾我勝治
〔三浦市〕 高梨照子
〔厚木市〕 渡辺一夫 金子次好
〔大和市〕 中山龍二 松井十九子
〔座間市〕 本多啓子 澤田雅子
〔敬称略、五十音順で表記。また、所属等は受賞当時のもの。〕



発協 市町村民児協 活動研究レポート No.38

新任児童委員・主任児童委員に「今」伝えたい
〜神奈川県民児協 児童委員・主任児童委員活動推進会議実行委員会〜

去る2月9日に「地域の中で児童委員と主任児童委員の心がまえと役割について」わたしたちが子どもにとって「身近なおとな」となるために〜」をテーマに平成28年度児童委員・主任児童委員活動推進会議（以下「推進会議」）が開催されました。この推進会議は、実行委員によって企画・運営されています。そこで、実行委員がどのような視点を持って、推進会議を企画したかについて、また、当日の研修報告もきめお伝えします。

●活動している委員の声を活かす

この推進会議は、児童委員、主任児童委員として日々活動する中で抱えている課題や県内で共有すべき情報を主たるテーマに毎年度実施しています。

この推進会議の特徴は、「実行委員会形式」であることです。各ブロック（横須賀・三浦、県央、湘南東、湘南西、西湘、足柄上、湘南西）の代表として推薦された児童委員、主任児童委員と本会会長、県子ども家庭課職員を構成員とし検討を重ねて開催しています。

また、実行委員がファシリレーターとなり、30市町村民児協間の情報交換の場として「児童委員・主任児童委員連絡会議（以下「連絡会議」）」を11月に開催し、その場でも出された意見も推進会議に反映されています。今年度の連絡会議のテーマは、「地域の子どもと継続的に関わりを持つための引

継ぎとは〜私たち児童委員・主任児童委員が『身近なおとな』になるために〜」でした。参加者にとっては、「普段の活動はどうしても就学前児童が多い中、高校生も児童であることの再認識ができた」「いつかは引き継ぐ。その準備が必要であることが、一斉改選前のこの時期だからこそ考えることができた」等他委員の考えを聴き、自身の活動を見つめ直す時間になりました。

各民児協の地域性や委員の経験等異なるところもありさまざまな考えも出されますが、児童委員、主任児童委員としての普遍的な「姿勢」や「土台」は変わりません。その「姿勢」や「土台」に焦点を当て、実際に活動している委員の声を大切にするため実行委員会や連絡会議で意見交換し企画に反映しています。こうして、企画される推進会議はより身近に感じられ

るように組み立てられています。

●一斉改選後だから、新任委員に知ってほしい

今年度の推進会議のテーマを決めるにあたっては、開催日が一斉改選後の2月であることに注目しました。「自分たちが新任のとき、初めに何を知らなかったか」「早く知れたから助かった情報は何か」をテーマとして、多くの新任児童委員、主任児童委員（以下「新任委員」）に参加してもらってはどうかと考えました。



「ちょっとだけ」(瀧村有子作、福音館書店)の読み聞かせとおし、絵本も育児書になることを学びました。

子育てサロンの目的

児童虐待の恐れのある保護者の発見です。サロン実施に協力すると、実施回数や活動内容に意識してしまいます。しかし、「サロンに来たけれど親の顔色が暗いな」「他の親の発言を受けて、嫌な気持ちを抱いてはいないか」等、「地域の身近な相談役」である児童委員、主任児童委員だからこそその視点を持ち活動することが大切です。

こんにちは赤ちゃん訪問の目的

産後つつの状態の親の発見とその親への対応です。

しかし、子どもが生まれたことはとても喜ばしいことであり、さらに、事業名称からも「おめでとう」とお祝いの雰囲気が出てしまう場合があります。そのため、子育てについて悩みを持っていたり、憂鬱な気持ちである親にとっては、なかなか吐き出せない訪問の場合も少なくありません。

＜推進会議の一部報告＞

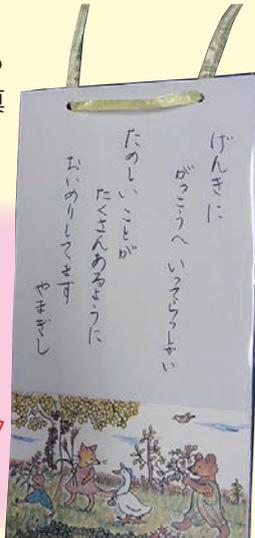
子育てサロンとこんにちは赤ちゃん訪問の目的以外では次の講義がありました。当日資料は、各市町村民児協へ送付予定です。

1. 住民がまた相談したいと感じてもらえるように

- 秘密を守る(家族にも漏らさない)
- ありのままを受け入れる
- 忙しげにしない 等

2. 身近なおとなになるために

山岸先生のお庭には、「げんきにがっこうへいつてらっしゃい」と下の写真の立札を掲示し、子どもたちに声かけをしています。



「実行委員会でも検討する過程で、他民児協のそれぞれの地域性に沿った特色ある多様な活動を知れた」と実行委員長 檜山さん(横須賀市民児協)は振り返ります。さらに、他実行委員からも、「実行委員を担ったことで、広い視野のもと多面的に物事を考え、実施することの大切さに気が付いた」「自分の立場・役割を再確認し、これからのように活動していく

講義をお願いしました。参加者からは「委員になりたての『今』学べてよかった」と推進会議のねらいが伝わる結果となりました。

●実行委員になったから得られるもの

べきかを考える機会となった」と感想をいただきました。また、推進会議を開催するまでに数回行った実行委員会では、引き継ぎ書類の話題が出されたりし、次の実行委員会ではその書類の写しを渡し情報交換する様子も見られました。今回の実行委員のような新しい役割を担うことを、負担に思う委員もいらつしやるかもしれません。しかし、「自分の活動に活かすことが一つでもないか」「自分の活動を振り返る機会になる」「新しい出会いが待っている」という視点を少しでも持つことが大切かもしれません。

活動のヒント・ポイント

手作り会議のすばらしさ

推進会議主催の研修会に参加させていただき嬉しく思いました。皆様がお忙しい中 主体的・自発的な志を持たれてご自身の会の企画をされることに大きな意味を感じました。もう何年か歴史を積まれているように伺います。

研修会には 大勢の方々のご参加をいただき、熱心にお聞きいただいとうれしく思いました。皆様の見守りをいただける住民の方々はお幸せと思いました。「人々の生活を守る」は幅広いものです。でも皆様方は厚生労働省から「社会福祉関連法を生かして問題解決する」協力員として委嘱されておられます。ご自身の私的な活動と児童委員・主任児童委員としての公的役割を整理されながら優先度を大事にされてご活動ください。地域の方々から期待されての依頼を順番に受けておられると

元東京都市大学教授
山岸 道子さん



幅が広がり本来の役割の「児童虐待」「貧困問題」などへの時間が十分にとれなくなる場合もあります。

「身近なおとなに……」というお心も素晴らしいと思います。満18歳未満を児童として実際に触れあってくださるお心は大切です。いきなりの中学生、高校生との触れ合いも大切ですが、子どもたちはあつという間に大きくなります。小学生と心のふれあいの継続で中学生 高校生になって悩みが生まれた時 思い出してもらえらることもよろしいように思います。

子ども時代の幸せは、その後の幸せ必ずつながります。

皆様のお力で児童福祉分野に貢献いただき、子どもたちの笑顔が増えますように……



右上から金子さん、伊藤さん、田村さん。
右下から大沢さん、宇田川さん、邊見さん、大原さん。

今までの広報委員の想いを受け継ぎ、

これから私たちが民児協だよりを担当します！

平成28年12月1日から、本会広報委員として委嘱された方々を、ご紹介いたします。

去る2月23日に、新メンバーでの第1回広報委員会(今年度第4回)が開催されました。委員の互選により、委員長は伊藤さん(綾瀬市民児協)が、副委員長は田村さん(秦野市民児協)が選出されました。

また、各民児協の取組み等の情報を発信していただく通信員(各市町村民児協から選出)も新しいメンバーを迎えました。『県民児協だより』が会員の一人ひとりにとって身近で、「ついで見やす〜ついで読みやす〜よ分かれやす〜」紙面となるよう、広報委員、通信員が力を合わせ取り組んでいきます。

伊藤 寧彦 【委員長】

(綾瀬市民児協・民生委員児童委員)

綾瀬市民児協より、推薦を頂き三年間広報委員を務めさせて頂きます伊藤です。民生児童委員(協議会)の声を広報紙に掲載させて頂き、その声の中から少しでも皆さま方の民生児童委員活動の参考にして頂ければ幸いです。

田村 正一 【副委員長】

(秦野市民児協・民生委員児童委員)

県民児協だよりの伝統を大切に、わかりやすい紙面づくりと民児委員活動の参考になる情報提供を目標として、微力を尽くしていきたいと思っています。

宇田川 敏枝

(三浦市民児協・民生委員児童委員)

読む側から、編集し読んでもらう立場になり、不安と責任と期待の気持ちが入り交錯しています。活動の力になる情報満載、見やすい紙面作りを目指し、頑張りま

大沢 みき

(厚木市民児協・主任児童委員)

このたび広報委員をさせて頂くことになりました。主任児童委員としての役割を民児協だよりを通して発信できたらと思います。3年間よろしくお願

金子 明

(寒川町民児協・民生委員児童委員)

広報委員を打診され戸惑っていましたが、何とか無い知恵を搾って皆様の役に立てればと思っています。皆様の目を引く冊子に出来る様頑張ります。「皆様宜しく」。

大原 すずか

(中井町民児協・民生委員児童委員)

「たすけあい・ささえあい・みとめあい」この言葉は中井町民児協の基本理念ですが、この気持ちを大切に、心に届く、より身近な広報紙作りを心がけていきます。

邊見 千恵

(湯河原町民児協・主任児童委員)

文章を書くのもまとめるのも苦手な私ですが、メンバーの皆さんといっしょに楽しく活動していきたいと思っています。よろしくお願